

## 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立備前緑陽高等学校		
実践者等	岡村 悠太郎	実践日	令和4年7月
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>	物理基礎、物理		
対象生徒(学年等)	普通科1～3年		
育成を目指す資質・能力	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input checked="" type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input checked="" type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化 <input checked="" type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用 <input checked="" type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input type="checkbox"/> 効率化や省力化 <input type="checkbox"/> その他( )	
	家庭学習	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着	

### 実践の内容

#### 【授業】

授業の振り返りにアウトプットシートを作らせる。

- ・ Jamboardで「アウトプットシート」と題して作らせた。これにより、①回収の手間が省ける、②生徒もいつでも閲覧、編集可能、③なくすことがない、というメリットを得ることができた。
- ・ 「アウトプットシート」は面倒になると続かないので、授業で何を学んだか(何が理解できなかったのか)を明確にすることを最大の目的にし、できる人は授業のポイントもできるだけ端的にまとめるよう指示を出している。
- ・ 「アウトプットシート」の評価については定期考査ごとにまとめて行うことにした。毎授業ごとに何人かの作品は見るが、全員の作品を見て評価するのは現実的ではないと考えた。評価の基準は「授業の目的を意識して主体的に受けているか(何を学び何を理解できなかったのかを明確に記述しているか)」とした。

7月8日(金)

出来るようになったことや分かったこと

有理数字の点をどこにうつのかわかった

↑ ↓  
どちらかに付箋でまとめよう。(両方も可)

覚えるのが難しい

消化不良なことや難しかったこと

覚えるべきポイントや考えるコツなど、重要項目をまとめよう。絵を入れてもいいね!

前にある0は

自分なりに書いてごらん!ペンでもいいぞ!

有<sup>2</sup>交<sup>2</sup>隣<sup>2</sup>字<sup>2</sup>じ<sup>2</sup>り<sup>2</sup>たい

$$\begin{array}{r} 0.012 \\ 1.001 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.102 \\ 1.102 \end{array}$$

#### 【本時と家庭学習の連動】

(本時前) 前時のアウトプットシートを閲覧し思い出しておく。

(本時後) 授業内に作りきれなかったものは家庭でその続きを行う。